令和8年度第2回岐阜支部評議会議事概要

開　催　日　時	令和８年10月22日(木)　14:00～15:30
開　催　場　所	濃飛ビル15階会議室
出席評議員	秋山評議員、井上評議員、梅津評議員(議長)、大杉評議員、長﨑評議員、堀内評議員、村瀬評議員、吉田評議員(五十音順)
議　題	
1. 令和９年度平均保険料率について(資料1-1、1-2、1-3) 2.中期戦略プラン(案)の報告・支部戦略プランの意見聴取、令９年度事業方針に関する意見聴取(資料２、参考資料 2-1, 2-2)	
議　事　概　要 (主な意見等)	

評議員9名中8名が出席。
各議題について事務局より資料に基づき説明。主な意見等は以下のとおり。

1.　令和９年度平均保険料率について

【事業主代表】
　物価上昇の中9.9%維持の努力は素晴らしいことではあるが、示されたシミュレーションを見ると保険料率は下がるよりも上がる可能性が高いと思われる。この点を協会はどのように考えているか。

＜事務局＞
　保険料率引き下げのシミュレーションについては資料 1-3 の 32･33 ページでお示ししているが、近年黒字が続いていることから、下げるべきではないかとのご意見も受けている。令和8年度保険料率について、協会としては10%維持を要望していたものの、国からの要請もあり、総合的に勘案し 9.9%に引き下げた経緯がある。ただし、過去には保険料率を下げると国庫補助も下げられている経緯があることには留意が必要と考える。

【被保険者代表】
　令和8年度は保険料率が引き下げられたが、子ども子育て支援金分の増加により引き下げの実感がない。昨年の評議会で保険料率 10%維持の意見でまとまったにもかかわらず、その後引き下げとなったことには釈然としない思いが残った。今後の保険料率や準備金の在り方について、今回示された検討の方向を踏まえ、継続的な議論を通じて明確な方針が定められることを期待する。

【被保険者代表】
子ども子育て支援金により、実質の社会保険料負担はプラスとなったが、それでも現状維持が妥当と考える。
保険料率引き下げの条件である準備金3か月分が妥当であるかについては検討を継続すべきと考える。

【被保険者代表】
　今後準備金がマイナスになる予測が試算されているため、保険料率の引き下げは考えにくい。人間ドック健診への費用補助は従業員に好評であるため、健診制度などを充実させるための費用を確保する意味でも現状維持が望ましいと考える。

【事業主代表】
　9.9%維持が妥当と考える。なお、加入者一人ひとりの健康づくりへの取り組みが保険料率につながることを意識していただけるよう、広報の充実も図っていただきたい。

【学識経験者】
　安定運営が基本であり 9.9%を維持するべきと考えるが、物価上昇による生活の負担感が増しているため、加入者の負担軽減を視点とした議論も必要ではないか。

【学識経験者】
　保険料率は据え置きが妥当と思われる。物価が上昇する中で今後保険料率が変動する場合は加入者への丁寧な説明が重要である。これからも健康づくりなど予防増進事業を積極的に行って欲しい。

＜事務局＞
　協会けんぽは安定運営が求められており、保険料率を下げるには医療費が下がらなければならない。加入者の行動変容により中長期的に医療費を削減していくことになるが、保健事業を推進して医療費を下げる取り組みを実施しつつ、直近ではこれまで各支部で行っていた広報事業に加え全国でテレビ CM を放送している。保険料率の仕組みなどを知ってもらうために、まずは協会けんぽのことを知っていただくことが必要と考えている。

2. 中期戦略プラン(案)の報告・支部戦略プランの意見聴取、令和 9 年度の事業方針に関する意見聴取について

【学識経験者】
　参考資料 2-1 の 7 ページにおける加入者 1 人当たり医療費の全国平均からの乖離率寄与度について、2024年度の他の心疾患が急激に高くなっているが、何か要因は考えられるか。

＜事務局＞
　受診率の対前年度比について、全国では 125%であるが、岐阜支部は 138%と全国と比べて高かった。推測であるが、新型コロナによる受診控えの反動が都市部は比較的早く、地方は遅い傾向があったため、岐阜では 2024 年度に受診者数が増大したのではないかと思われる。

【学識経験者】
　LINE の登録者数は何名か。

＜事務局＞
　5200 名ほどであり全国 10 位である。

【学識経験者】
　トラック協会では運転手に対し、働き方を中心とした安全管理研修を行っているため、例えば生活習慣病リスクなどの健康に関する研修も組み込んでもらってはどうか。

【被保険者代表】
　血圧リスクで主に広報を通しての取り組みになっているが、それだけでは加入者の行動を変えるのは難しいのではないか。一方で高校ダイアリーなど高校生と連帯した取り組みは良

いと思う。子供から親に話をする方が生活習慣の見直しにつながりやすいため、家族に訴えかけることで本人の行動変容を促す事業をしてはどうか。

＜事務局＞
　皆さまから貴重なご意見をいただき感謝申し上げる。今後、事業を推進していくにあたり参考とする所存である。

特　　記　　事　　項
・傍聴者：2名（岐阜新聞社　他１名） ・次回開催は令和８年12月または令和9年1月予定